

2001 北のまちで心にふれる

広

Public Relations

報

あきた

2001年 1月5日号

NO.1497 毎月第2・第4金曜日発行

編集発行 秋田市広報課

1月は今回の新春特集号発行のため、
12日(金)号は休刊となります。

秋田市 **新世紀** プラン



きらめく北の人間都市あきた

秋田市 新世紀プラン

時ぼ 代くらの だ!

夢として語られてきた
二十一世紀が、いよいよ
現実のものとなりました。

この新しい世紀の階段
を、一步一步、どう踏み
しめ昇っていくか。将来
へ大きな展望を描きなが
ら、まちづくりはいつの
時代も地道な努力の積み
重ねです。

「秋田市新世紀プラン」
の基本構想が決まりました。
三十二万市民の力を
合わせ、さあ、二十一世
紀にトライ!



新年あけましておめでとうございます



秋田市長

石川 錬治郎

21世紀へ「秋田丸」の船出

市民の皆様、あけましておめでとうございます。清々しい新年を迎えられたことと存じます。今年の元日は新たな千年を刻む最初の日として特別な意味があるように思います。「千里の道も一歩から」にならって表現すれば「千年の時もはじめの一日から」ということになるでしょうか。

折しも本市では、去る12月市議会でその基本構想が議決された「第9次総合計画」にあたる「秋田市新世紀プラン」が、2001年度から始動することになります。

1990年、市長に就任したときに私は「第7次総合計画」を策定しました。それは北緯40度上に位置する世界の諸都市と伍して発展することをめざした「きらめく北の人間都市」という気宇壮大なまちづくりの基本理念を根底に据えたものでした。第8次総合計画を受け継ぎ、1万人アンケートなど市民参加のもとで作成した今回の新世紀プラン「秋田丸」は、32万市民の夢と希望を乗せて世界の港へ船出することになりました。行く手には大波小波をはじめ多くの困難も予想されますが、市民が一丸となって漕いでゆくならば必ず目的の港に到着できるでしょう。

新世紀プランは5つの将来都市像と7つの重点テーマを定めて実行していきますが、とりわけIT時代の秋田の将来を担う人づくりを重視しております。そこに生まれ、育ち、学び、働き、楽しみ、憩う市民のライフサイクルすべてにわたってカバーできるようなプランに仕上げてまいります。

「構想」は固まりましたが、基本計画や実施計画はこれからです。多くの市民の皆様の計画への積極的な「参画」を期待しております。

市民の皆様は船の乗客であると同時に船員でもあります。一緒に21世紀の大海原へ楽しい航海に出ようではありませんか。



市民一人ひとりの顔が見えます。 目玉は、7つの重点テーマ。

第九次秋田市総合

計画となる「秋田市

新世紀プラン」は、

平成十三年度から二

十二年度までの十年

間のまちづくりの展

望を描くものです。

秋田市総合計画は、

社会情勢の変化に合

わせ、五年ごとに見

直しを行っており、

十二月市議会で今回の計画の基本構想

部分が議決されました。

左に掲げる五つの将来都市像のもと、

時代が求める七つの重点テーマを設け

たのが大きな特徴です。「拡大・成長」

の二十世紀から「調和・共生」の二十

一世紀へ。この大きな展望を実現して

いく具体的な諸施策を示す「基本計画」

「実施計画」は三月までにまとめます。



重点テーマ

少子長寿社会やIT(情報通信技術)革命への対応、環境問題、将来を担う人づくりなど、秋田市が総力をあげて取り組む七つの重点テーマを設定しました。個々の施策がこれらのテーマに十分に応えているかを検証しながら、きめ細かなまちづくりを進めます。左は重点テーマで検証した主な施策です。



少子長寿社会への対応

環境と調和した
まちづくりの推進

市民共生社会の実現

地方分権推進による
市民主体の都市個性づくり

中心市街地再生による
秋田の顔づくり

秋田の未来を担う
人づくり

IT革命に伴う
社会変化への対応



1

環境と調和し 快適に暮らす 魅力あるまち

環境と調和したバランス良い各種都市基盤の整備につとめ、住み良い都市空間を創出することにより、市民が快適に暮らす、魅力あるまちをめざします。

将来人口に応じた的確な土地利用・都市計画の推進
高齢者をはじめとするすべての人が訪れやすい市街地形成
ITの利活用

市街地の外延的拡大の抑制と市街地、農地、森林などの保全
環境基本計画の推進体制の充実と自然エネルギーの活用促進

交通機関乗り継ぎの円滑化
建築物や住宅のバリアフリー化の促進
公園緑地のバリアフリー化の推進

中核市としての都市計画権限拡大を活用した市民参画のまちづくり
自己責任原則での廃棄物発生の抑制やリサイクル推進

都心部にふさわしい都市機能の集積と交通利便性の向上
千秋公園を中心市街地の緑の拠点として整備

恵まれた自然にふれ、豊かな心を育てるための自然環境保護
小・中学校へのコンピュータ整備などITリテラシー(読み書き能力)の向上

電線地中化など情報通信ネットワークの信頼性確保
IT活用による行政情報の発信や情報基盤の整備

2

豊かで夢と希望 を持って生きる 活力あるまち

安定した市民生活の基盤が確保できるよう、各産業の均衡ある発展につとめます。創業を促進することにより、働く場を確保し、あらゆる世代が豊かに暮らせ、将来に夢と希望を持てるまちをめざします。

若者の雇用の場の確保
生産性向上に向けた企業の活性化と創業の促進
農村活性化へ向けた女性や高齢者、グループ経営の支援

包装容器の資源化や環境に配慮した商店街整備の支援
農業振興を通じた環境保全と森林の保全

だれもが利用しやすい商店街づくりなどバリアフリー対応事業の支援
仕事と家庭の両立支援など働きやすい就業環境づくり

権限移譲による本市の特色をいかした農業振興と農地保全

秋田市中心市街地活性化基本計画に基づく商業等活性化事業の支援
中心市街地における創業や事業拡大の金融・財政支援

経済情勢の変化に対応できる人材の育成
優れた経営感覚と創意工夫の精神に満ちた担い手の育成

電子商取引などIT活用の指導・支援
企業の情報化支援
インターネットを農業に活用する調査・研究

4

可能性を伸ばし 生きがいを持てる 充実のまち

充実した学習活動や文化活動およびスポーツに親しめる生涯学習の機会と環境を整えます。郷土の歴史と伝統を誇りに、市民が自分の可能性を伸ばし、常に生きがいのある人生を送れるまちをめざします。

児童・生徒数の減少に対応した異学年交流や余裕教室の活用
留守家庭児童対策
高齢者の学習機会の拡充

太平山の自然環境を活用した青少年等宿泊施設の整備
緑を多く残した憩いの場としての八橋運動公園の再整備

すべての児童・生徒が楽しく安全に学校生活を送れる教育環境の整備
だれもが気軽に参加できるスポーツ活動機会の提供

教職員の専門研修や課題別研修の充実

学習活動支援に向けた(仮称)中央地域シビックセンターの設置
市民の新たな芸術・文化拠点としてのホール整備

個性の伸長や自ら学ぶ力の育成と家庭・地域社会が一体となった教育活動の推進
郷土に誇りと理解を持つ人材の育成

校内外ネットワークの充実とITの学習活動への効果的活用方法を調査
IT社会に対応した生涯学習の機会提供

3

安心して 健康にすごす 助け合いのまち

思いやりと助け合いの心を広げ、社会福祉と保健医療を充実し、災害に対する備えを強化した、すべての人が安心して暮らせるまちをめざします。

高齢者の社会活動支援
多様な保育サービスの提供
乳幼児の健全育成に向けた各種検診や予防接種の充実
各種社会保障制度の健全運営

斎場のダイオキシンなど有害物質調査
エネルギーの浪費抑制と省エネルギー意識の普及・啓発

住環境や社会復帰施設の整備など障害児(者)の自立・社会参加の促進
住み慣れた地域での安全な生活に向けた地域福祉活動の支援

中核市として高齢者ニーズなどに即したサービスの提供
保健所と市民の連携強化で自ら健康づくりに取り組むまちづくり

中心市街地へすべての人が集い活動できるバリアフリーの施設整備
中心市街地の都市防災を考慮した施設整備

子どもたちのふれあいの場の提供と相談体制の充実
ボランティアなどで地域福祉活動を担う人づくり

インターネットによる福祉・保健サービスの情報提供や利用申請システムの整備
申請手続きの簡素化や審査時間短縮に向けたIT活用



市長ホットライン



1月25日(木)午前10時～11時
(0120)681・815フリーダイヤル

市の将来に向けた建設的なご意見、ご提言を、
広く市民のみなさまからお聴きいたします。
気軽にお電話ください。

新世紀プランは秋田市ホームページでも

新世紀プランについて、秋田市ホームページでも、さらに詳しくお知らせしていますので、ご意見をお寄せください。

秋田市ホームページ <http://www.city.akita.akita.jp/>

自ら考え主体となって参加する開かれたまち

市民自治の意識を醸成するとともに、市民自らが郷土の将来を考え、市民が主体となって地域づくりに参加できる開かれたまちをめざします。

少子長寿社会への対応

地域自治組織への積極参加の促進
世代間交流などを活発にする
コミュニティ活動への支援

環境と調和したまちづくりの推進

市民、事業者、行政の協働による環境対策に向けた市民活動の支援
環境関連の情報交流の活性化

市民共生社会の実現

市民活動に参加しやすい環境の整備と市民活動の連携強化
家庭・学校・職場・地域などでの男女共生社会の充実

地方分権推進による市民主体の都市個性づくり

まちづくりに関する市民活動の支援
コミュニティセンターの整備
市職員の政策形成能力の向上

中心市街地再生による秋田の顔づくり

中心市街地での市民活動支援施設の整備を検討
(仮称)拠点センター内に、市政情報の提供機能を持つ施設を設置

秋田の将来を担う人づくり

参加型社会を担う人材育成に向けた市民活動の支援
情報公開推進による市民参加の土台づくりと市民参加意識の醸成

IT革命に伴う社会変化への対応

(仮称)シビックセンターへのITを活用した市民活動支援機能の導入
国内外に開かれた都市をめざし、インターネットによる市政情報の提供と発信

雪国の市場 (昭和6年)

現在の日展にあたる帝展に初入選した作品。通町の朝市を描いたもので、野菜を売る農婦たちと、お高祖頭巾や角巻の女性、箱ぞりの子どもなど、雪国らしい情緒が漂う作品です



旭川暮色 秋田十二景より (昭和14年)

秋田市に今もかかる二丁目橋から旧・土手長町を望んだ風景です。那波家水飲み場や旭川の流れは変わりませんが、丸屋根の県物産館、川筋にあった家並みは姿を消しています。



いろり 秋田風俗十題より (昭和14年)

秋田の冬は囲炉裏端が家族の憩いの場。雪ペラとさんべと呼ばれるわらぐつには雪がまだ残り、子どもは手足を精一杯伸ばし暖をとる。親子の歓談の声が聞こえてきそうな作品です



かまくら (昭和30年) 冬の月夜に照らされた横手のかまくら。ろうそくの明かりがおぼろげに、まるでおとぎの国を見るような美しさです

勝平得之記念館

赤れんが郷土館に、1月6日(土)改装オープン

私は父が漉く紙への
愛着から版画の道に入った。
この紙が尽きても、
また新しい紙に郷土秋田の
風物をかき残す。
それがただ一つの道であり
これを念願としている。





昭和29年8月、棟方志功個展会場で。棟方は勝平の作品を高く評価していたという
(前列左より棟方、勝平)



勝平が制作した「秋田風俗人形」は当時、物産品として販売され、秋田の風俗を紹介するおみやげとして人気がありました



記念館に展示されている勝平得之版画制作中(昭和29年)のパネル

郷

土秋田の風俗や自然を色摺りの木版画に描き続けた勝平得之。この

一月四日で、ちょうど没後三十年を迎えました。

これを機に版画家・勝平得之の業績を広く知っていただこうと、このほど大町の赤れんが郷土館三階にある勝平得之記念館を大幅に改修。一月六日(土)、待望の改装オープンとなります。改修記念式典は午前十時から。当日は入館料を無料にして、みなさんのお越しをお待ちしています。

勝平得之は、明治三十七年(二九〇四)、秋田市鉄砲町(現在の六丁目)の紙すき職人の家に生まれました。幼い頃から絵が達者で、二十歳の頃から本格的に版画家を志します。そして、浮世絵版畫の鮮やかな色彩に影響を受けたのち、絵・彫り・摺りの三つの工程を一人で行う、独特の彩色版画を生み出しました。終生秋田を離れることなく、シンプルで素朴な刻線と鮮やかな色合いにこだわった勝平版画の世界。勝平の作品は昭和六年の帝展初入選以来、数々の美術展に入選し、国内外で高い評価を受けています。デザインを一新した記念館で

は、勝平の優れた作品を常時展示するほか、生い立ちと版画家としての勝平の姿を紹介するビデオを放映、本人が自分の作品について語ったインタビューも試聴することができます。木の温もりをいかした館内は、勝平の心の温かさそのものの空間です。

描き残された秋田の古き良きもの…。温かで包み込むような視線で描かれた勝平版画は、今もなお、多くの人々に親しまれ、秋田の懐かしい風俗とともに、私たちの心の中に残る「ふるさと」ともいえるでしょう。

問い合わせ 赤れんが郷土館

☎(864)6851

没後30年 勝平得之記念館改装記念

■ 勝平得之と 雪国秋田の子どもたち ■

子どもたちの何気ない表情や雪国の遊びが、いきいきと表現されています。

とき 1月6日(土)～4月8日(日)
ところ 赤れんが郷土館

開館時間：午前9時30分～午後4時30分
観覧料：大人200円、中学生以下無料

